

科目名	データ分析基礎		
授業形態	講義	学年	1
開講時期	2022年度 前期	単位数	2
担当教員	伊豆田 義人		
内容および計画	<p>情報化社会の到来により、大量のデータが氾濫するようになった。このため、これらのデータを効率よく分析してビジュアル化し、状況の変化や傾向をすばやく察知して問題の要因と解決策を的確に発見するスキルが不可欠になっている。本講義では、表計算ソフトを学習した上で、情報の分析力を身に着ける。データの加工から分析・ビジュアル化の手法について学ぶほか、力任せの分析にならないよう、ソフトを効果的・効率的に活用する方法を習得する。</p>		
1	ガイダンス/Excelの基本操作・入力		
2	表の作成・表の編集・入力作業を効率化する機能		
3	四則演算と関数		
4	データベース関数・セルの参照		
5	分岐処理		
6	条件付き集計		
7	様々な集計		
8	情報の視覚化としてのグラフ		
9	グラフ		
10	基本的な問題 1		
11	基本的な問題 2		
12	応用問題 1		
13	応用問題 2		
14	データ分析 1		
15	データ分析 2		
<b>教科書</b>			
	タイトル	著者名	出版社
			ISBN
			発行年
適宜資料を配付する			
参考書	<p>タイトル『Excel2013 基礎 セミナーテキスト』 著者名 日経 BP 社 出版社 日経 BP 社 ISBN 9784822293895</p> <p>タイトル『Excel2013 応用 セミナーテキスト』 著者名 日経 BP 社 出版社 日経 BP 社 ISBN 9784822293932</p> <p>タイトル『Excel でマスターするビジュアルデータ分析』 著者名 住中光夫 出版社 アスキー・メディアワークス ISBN 9784048703109</p>		
<b>成績評価</b>			
	評価方法	割合(%)	
出席状況		30	
授業課題の提出状況		20	
期末課題		20	
期末テスト		30	

出席状況，課題提出状況による	
学習到達目標	レポートやレジユメなど，報告をする機会が増えるが，報告資料は表やグラフなどでビジュアル化することでわかりやすくなる。本講義では，表計算ソフトの基本的な活用方法を習得するとともに，データを適切に加工・分析・ビジュアル化することで，説得力のある資料を作成できるようにする。
先修条件	特になし。
実務経験	
その他	